

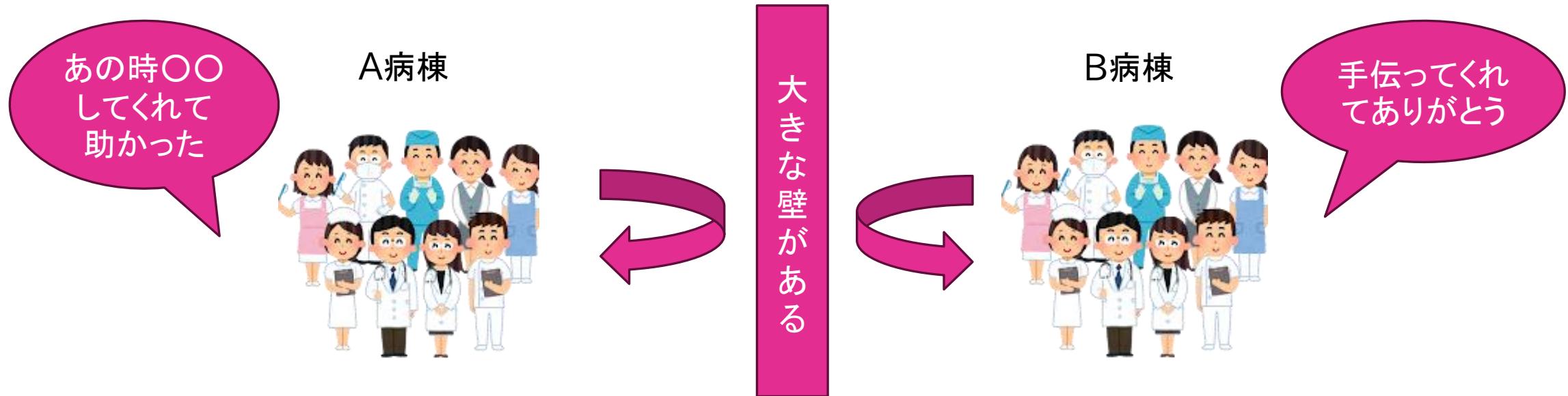
周産期チームで育む 心理的安全性

参加者部署：NICU・GCU・9B病棟・8A病棟の看護師助産師
新生児科医師・産婦人科医師
各部署のコメディカル

活動の目的

1. 職員同士の信頼と連携強化
2. 安心して意見や疑問を伝えあえる職場作り
3. より安全で温かい医療の提供

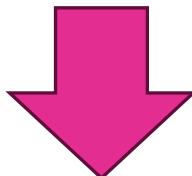
周産期関連部署の現状について



病棟内や職種内では、業務内で顔を見合わせることもあり、感謝の気持ちを伝えやすい
一方、病棟や職種を超えて改めて感謝の気持ちを伝えることは少ない

そこで・・・

一般に「サンクスカード」という、「従業員同士が、お互いに感謝の気持ちを伝え合う際に用いられるカード」を活用し、周産期内の病棟や職種を超えて感謝を伝える機会を設けたい



今回の企画では、周産期部署や職種をまたぐため
「サンクスブリッジカード」と命名

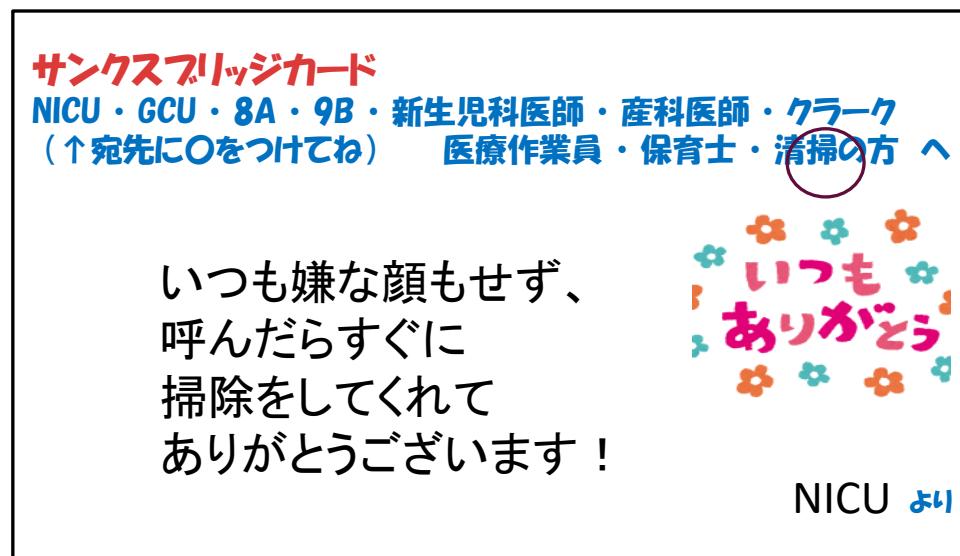
Thanks Bridge Card (サンクスブリッジカード)

カードに他病棟や他職種のスタッフへの感謝の気持ちを記入する

(例: GCU看護師→保育士、8A助産師→新生児科医師、9B助産師→NICU看護師、
NICU看護師→清掃の方へなど)

感謝を伝えたい対象者名は記入せず、対象病棟や職種のみ記入する

(例)



導入方法・活動内容

①動機付け

各部署のTQMメンバーが、パワーポイントを用いて部署のスタッフへ動機づけを行う

(サンクスブリッジカードの目的・方法・どんなことを記入するかなど)

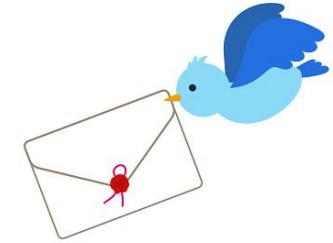
②スタッフへ「サンクスブリッジカード」の記入を呼びかける

③各部署で「サンクスブリッジカード」の回収箱を設置

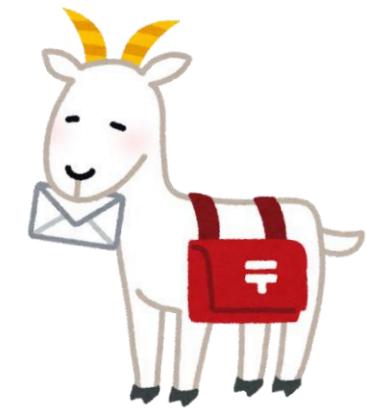
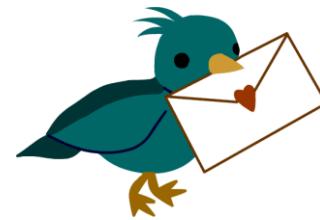
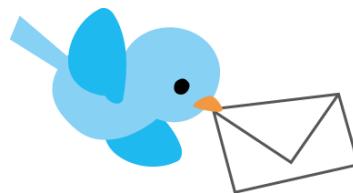
④各部署で回収された「サンクスブリッジカード」をTQMメンバーから対象部署へ渡す

⑤各部署で「サンクスブリッジカード」を発表または掲示する

評価方法



全体での「サンクスブリッジカード」の枚数を
確認し、感謝のやりとりを可視化する



期待される結果

- ・他部署間のコミュニケーションの円滑化、連携強化
- ・離職防止や新人職員の定着
- ・職員間・患者・家族に対する接遇の向上

以上を目指しTQMメンバーで取り組んでいきます!!

